

# 東日本大震災復興対策特別委員会

## 議会報告会結果を市長に申し入れ 土地利用計画を調査

東日本大震災復興対策特別委員会（千田勝治委員長）は、震災に係る本市の復興状況及び復興計画等の諸調査と復興促進対策について、引き続き調査を行っております。

### 【7月20日】

5月11日から21日までの4日間、議会報告会を開催し、また、5月28日に住田町で議会懇談会を開催しました。その中では、各地区から多くの率直な意見要望・提言をいただきました。

議会では、市民からは、事業推進の密な経過説明と情報の提供、市民からの意見聴取と適切な対応等を望む声が多いとし、市に対して、「主要事業の具体的な推進は、地域事情を勘案し、市政懇談会の開催等、適時適切な

な取組み」を申し入れました。市に対して行った申し入れの主な内容は次のとおりです。

### 1 陸前高田市震災復興計画の推進について

●主要事業の内容や実施スケジュールの適時、適切な周知等を復興計画の策定から半年が経過し、平成24年度予算の成立を経て、主要事業のスピード感のある実施が期待されています。

復興元年と位置付けられますが、具体的な事業内容や実施スケジュールなど、市民への周知が十分とは言えません。諸事業を展開する際には、経過説明を含め密に情報提供されるよう求めます。

●市民の意見の聴取、反映を市民の置かれた環境や意識は

変化しており、一方で情報不足から誤解も生じています。被災市街地復興土地区画整理事業、防災集団移転促進事業、災害公営住宅整備事業、防潮堤整備事業など、市民の関心の高い主要事業については、説明会の開催などでの市民の声に真摯に耳を傾けるよう適切な対応を求めます。

### 2 今後の取組みに係る留意事項について

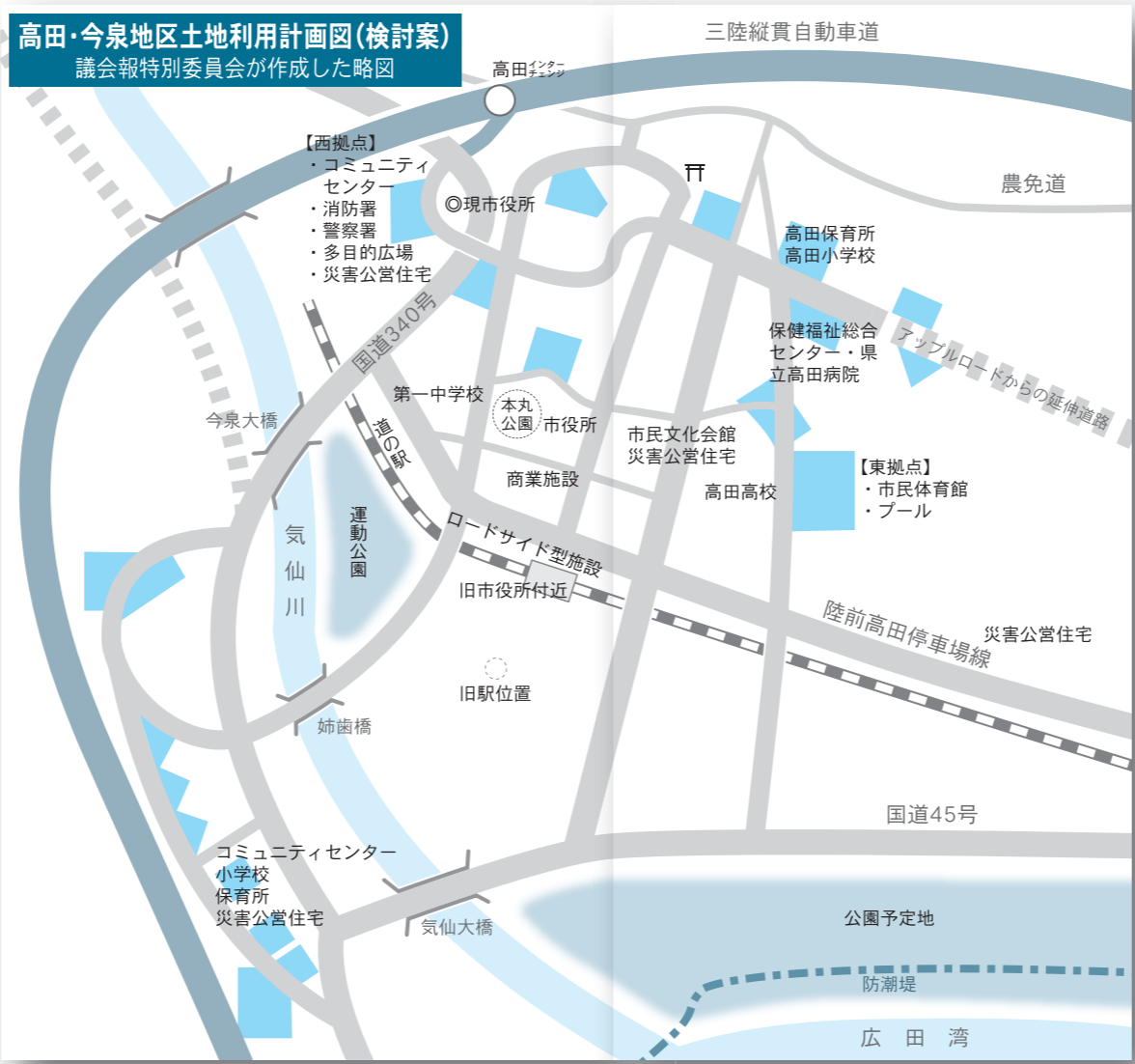
平成23年11月23日付け提言においても、「市民への説明、意見集約等について」として、「市民への積極的な情報提供」、「市民意見の広範な集約」等を指摘していたところです。主要事業の具体的な実施にあたっては、市民へのより一層の情報提供や意見聴取を経た上での合意形成が必要であり、地域事情を勘案し、ホームページ等での情報発信に限らず、市政懇談会の開催等、適時適切な取組みを望みます。

### 【9月13日】

高田地区及び今泉地区土地区画整理事業の計画（案）が示されており、その具体的な事業の推進を図るため、国土交通省直轄事業組織のUR（独立行



7月20日、議会からの申入書を市長に提出



## 土地利用計画・公共施設配置で議論

9月24日の東日本大震災復興対策特別委員会では、市から「高田・今泉地区土地利用計画（検討案）」の提案がありました。

計画の主な内容	
考え方	●高田松原地区に12.5kmの防潮堤 ●市街地を山側にシフトしコンパクトなまちづくり
高田地区	●主要幹線道路 国道45号、340号、県道陸前高田停車場線 ●国道340号 今泉大橋で気仙川を渡り国道45号へ接続 ●避難道路 メモリアルロード、小泉、和野、鳴石地区 ●宅地 高台6か所544戸、かさ上げ地域579戸 ●防災集団移転促進事業は砂畑、曲松地区が対象
今泉地区	●国道45号 高台部で国道340号と接続 ●環状線の設置と2本の避難道路 ●宅地 高台8か所504戸、かさ上げ地域188戸 ●防災集団移転促進事業は中井、大通地区が対象
公共施設	●市役所は荒町付近 ●市民文化会館 現高田小学校付近 ●県立病院、総合福祉センター、小学校、保育所を高台設置 ●東拠点 市民体育館、プール ●西拠点 消防署、警察署、コミュニティーセンター

### 【質疑の状況】

#### 市役所の位置・コンパクトシティについて

質問 市役所の位置は、どのような理由で荒町付近となっているのか。

答弁 商工会の要望もあり、市街地に市役所をおき、市民の利便性や災害の拠点としても考えた。

質問 現在の場所（鳴石）では機能を果たせないのか。災害の際、消防や警察署と一緒に効果が上がる機能するのではないのか。

答弁 今のプレハブ4棟では会議室も足りず非常に手狭である。現在の場所に市役所を建てる場合は一旦、壊すことになり

その間の機能がなくなる。

質問 市民は今回と同程度の震災の浸水に不安を抱えている。

答弁 12・5kmの防潮堤が整備された場合はかさ上げ地域には浸水しないことが大前提となる。一方で、経済活動も機能しなければ新しいまちはできない。両方を勘案していく。今回は検討案の提示であり、今後市民の様々な意見を聞き、成案をつくらせていきたい。

質問 市民文化会館について

答弁 建設は防潮堤整備以降になるが、前面には災害公営住宅が建設されることも考慮して考える。

質問 住宅や病院などは高台に、市街地は下になる。巡回バスなどの交通についてはどうか。

答弁 高台に公共施設も整備されるので、それを充分踏まえたバス路線を考えたい。

#### 道路網について

質問 新しい幹線道路はどのような考えなのか。

答弁 国道340号は栃ヶ沢地区から気仙川を渡り、市街地の東西には停車場線が幹線となる。そこにロードサイド施設を

つくる。

質問 気仙町から矢作町への道路が、竹駒地区の交通渋滞対策としても重要ではないか。

答弁 市道今泉下矢作線も今後の主要幹線として考えている。竹駒地区の国道340号についてもかさ上げし、直線的な道路整備を進めている。

質問 アップルロードからの延伸が必要だ。土地の価格も高騰しており、地権者の理解を得る手立ても必要ではないか。

答弁 県管理の道路であり、県は「難しい」としているが、まだ可能性もあり動向をみていく。地権者については、県と調整して進める。

#### 土地利用について

質問 メモリアルロードやアップルロードの延伸により、新しい土地利用の可能性がでてくる。これらを見越して計画をつくるべきではないか。

答弁 様々な復興事業の関係部課と連携を図りながら考えていく。

質問 メガソーラー誘致などの工業予定地のエリアが今回大幅に減っているが。

答弁 現実的にまだ明確ではない面もあり、農地も含めた産業エリアとして考えている。